

1 題材名

『千葉空襲と学童疎開！』 一戦時中になぜ東京の子ども達が、千葉市でくらしていたのだろうか？～千葉市に逃れてきていた東京本所区の学童疎開の子どもたち（緑区椎名地区の実践例から）～

2 授業のねらい

- ①戦時中アメリカ軍の空襲で、軍都であった千葉市の市街地や東京の下町は大きな空襲で焼け野原になったことや、尊い人命が多く失われたことを、戦争を知らない世代の子ども達に伝え、理解してもらいたい。
- ②戦争を数字や写真からだけでなく、子供の立場で考えるため**椎名地区の長徳寺と上行寺に集団疎開で来た**、東京本所区（現墨田区）の児童がどのような暮らしや何を思っていたのかを当時の墨田区博物館の記録等から、戦争の悲惨さや平和の尊さを自ら考えながら、振り返ってもらいたい。

〈千葉市に避難して来た学童疎開の児童一覧〉

3 指導計画上の位置付けと各学校での取り上げ方（1時間扱い）

◇6年社会科指導計画 11「長く続いた戦争 空襲で日本の都市が焼かれる」と関連した学習です。

◇東京本所区（現墨田区）から来ていた学童疎開の子ども達は千葉市の椎名地区・生浜地区・登戸地区・土気地区の4地区で、合計628名です。宿泊先はほとんどが地域の寺院です。

学校名	地域名	宿舎名	児童数
錦糸国民学校	椎名地区	上行寺・長徳寺	71名
錦糸国民学校	生浜地区	本行寺・本満寺	78名
二進国民学校	登戸地区	本所健康学園	184名
菊川国民学校	土気地区	本寿寺・善勝寺	113名

この学習は各学年で「**地域の昔の歴史を学ぶ学習**」（例 総合的学習の時間）として取り上げることもできます。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①椎名地区上行寺で撮影した子供たちの古い集合写真を見て、なぜ東京の小学校の子ども達が集団で千葉市の椎名地区で生活・学習していたのか疑問を持つ。
- ②この写真の時代が1944年であることを伝え、戦時中の東京での生活の中で、上行寺の写真に写っている児童に、いったい何が起こり・どう変わってしまったのかを東京大空襲の写真を参考にしながら話し合う。さらに、千葉空襲についても動画やスライドから、被害の大きさについて理解する。
- ③上行寺の石碑から、椎名地区に来た錦糸小学校の児童は、空襲から避難してきたことを知り、これを学童疎開ということの説明する。また、女子児童は椎名地区の長徳寺に避難してきたことを資料から理解する。
- ④「学童疎開墨田体験記録集」から作成したワークシートから、当時の地域の人に助けられたこと、食物が芋ばかりでお腹をすかせていたこと、親と離ればなれで寂しかったこと、地域の子供達と一緒に椎名小に登校したこと等を読み取り、子ども達の当時の心情を、自分たちと生活と照らし合わせて考える。
- ⑤学童疎開について、学童疎開でつらい思いをした子ども達の気持ちや、子どもと離れてしまった保護者の気持ちを考えながら、自分でテーマを設定して自分の予想や考えを振り返り、自分の考えをまとめる。

＜活用する資料＞

- ◎「軍都千葉と千葉空襲」当館令和2年度特別展図録
- ◎椎名地区上行寺・長徳寺写真
- ◎「語りつごう平和への願い」～学童疎開墨田体験記録集～（東京都墨田区教育委員会発行）
- ◎貸し出し用千葉空襲写真パネルリスト（千葉市製作）
- ◎「考えよう平和の大切さ」（千葉市）

5 指導上の留意点、その他

- ◇この学習は、今は忘れられてしまっている千葉市各地域の昔の歴史の資料を掘起こして教材化した学習です。6年生社会科はもちろんのこと、4年～6年生の「総合的学習の時間」としても実施できます。
- ◇この学習は、基本的に千葉市該当地区（**椎名地区・生浜地区・登戸地区・土気地区**）周辺の小学校で行う「**地域の昔の歴史を学ぶ学習**」を意図すると効果的です。もちろん他の小学校でも授業は可能です。